

「老後の備えと介護」に関するアンケート調査結果を発表

2012年9月25日

「老後の備え」は始めていても、「介護への備え」ができていない方が77.8%！
ほとんどの方が「老後に必要な生活費」と「介護の自己負担として必要なお金」を別々に考えており、自分自身の介護費用への備えができていない現状が明らかに！

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(本社:東京都渋谷区恵比寿1丁目28番1号 社長:鈴木久仁)は、東京国際フォーラムにて開催された「オヤノコト. エキスポ2012」^{※1}に前年に引続き出展し、AD全国プロ会(生命・人保険委員会、商品・サービス委員会)^{※2}の協力のもと来場者を対象とした「老後の備えと介護」に関するアンケート調査を実施しましたので、その調査結果をご報告します。

- ※1 「オヤノコト. エキスポ2012」は『高齢の親をもつ子ども世代の親孝行を応援する』というテーマのもと、さまざまな業態の企業が「親のこと」に役立つ商品や情報を発信する、株式会社オヤノコト. ネット主催の展示会です。
- ※2 AD全国プロ会とは、保険販売を専業とする代理店組織で、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と一体となってお客さまに安心と満足を提供し、地域社会への貢献活動を行っております。

【調査結果の概要】

今回の調査結果では、貯蓄や保険などで老後に備えている方が多いものの、ほとんどの方が「老後に必要な生活費」と「介護の自己負担として必要なお金」を別々に考えており、自分自身の介護費用への備えができていないという状況が明らかになりました。

また、民間の介護保険への加入検討時期に関する質問では、「若いときに検討しておきたかった」という方が多数存在することがわかりました。これは、老後の備えのひとつである民間の介護保険をお客さまに対してまだ十分に提案ができていないという現状を改めて認識させられる結果にもなっております。

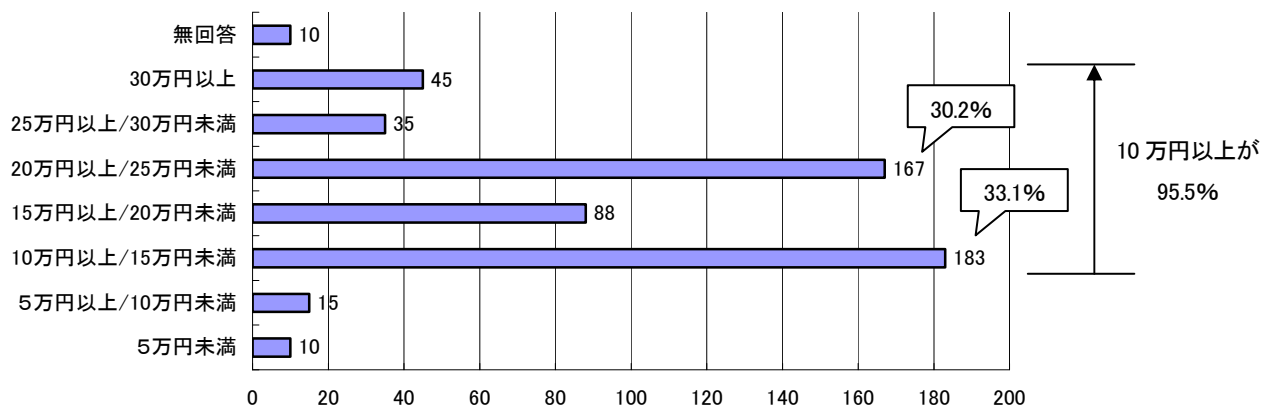
【調査結果のポイント】

○老後に必要な生活費は大半の方が10万円以上と回答しており、基礎年金だけでは不足する現状が浮き彫りに

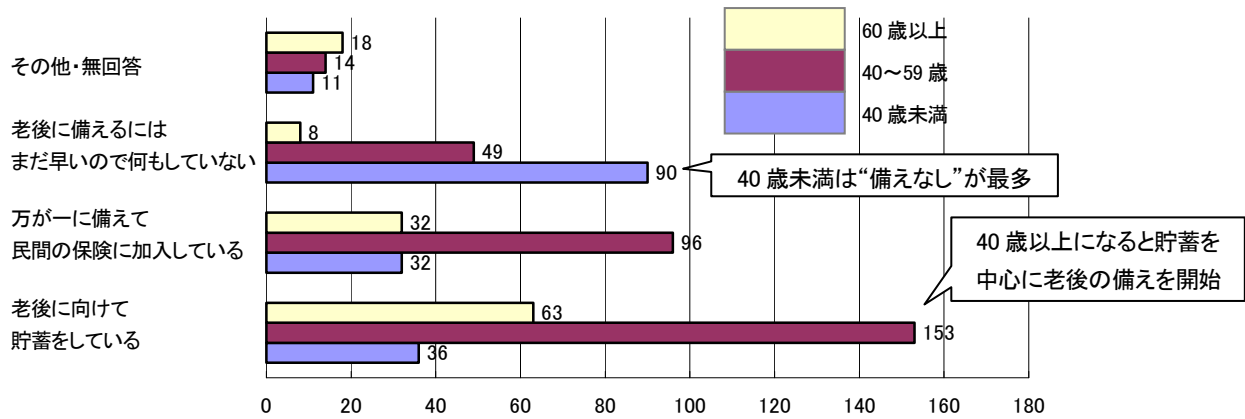
「老後の毎月の生活には一人あたりいくら必要だと思いますか」という質問に対して、最も多かった回答は、「10～14万円」で33.1%、次いで、「20～24万円」が30.2%でした。「一人あたり毎月10万円以上必要」と回答した方が95.5%と大半を占める結果となっています。

一方で、国民年金の基礎年金の標準的な給付額はひと月あたり6～7万円であり、このギャップを埋めるためには老後に向けた備えが不可欠といえます。

◆老後の毎月の生活には一人あたりいくら必要だと思いますか？(N=553)



◆老後の備えを始めていますか？あてはまるものをすべて選んでください(複数回答)(N=553)

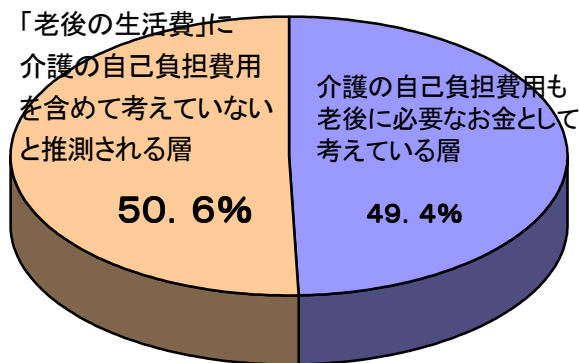


○「老後の備え」と「介護への備え」を別々に考えている方が多く、自分自身の介護への備えも不足

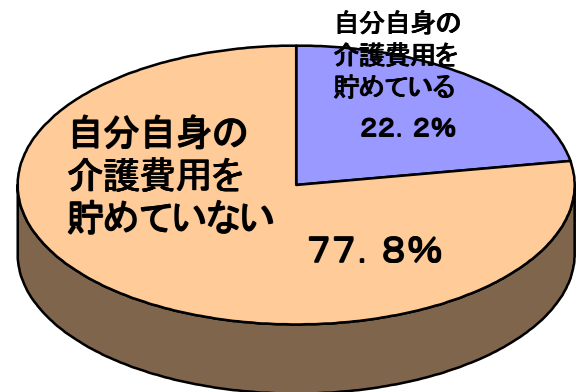
「老後の毎月の生活には一人あたりいくら必要だと思いますか」という質問への回答と、「介護のための自己負担費用は毎月いくら必要になると思いますか」という質問への回答をあわせてみると、それぞれの費用を別々に考えている方が多いことがわかりました。

さらに、オヤノコト・エキスポの主催者であるオヤノコトネット社が同じく来場者に実施したアンケートでは「自分自身の介護費用を貯めていない」方が77.8%という結果が出ており、老後の備えのなかでも介護への備え不足はさらに深刻な問題であるといえます。

◆「老後に必要な生活費」と「介護のために必要と考える自己負担費用」に関する回答の相互関係(N=520)



◆あなた自身が要介護状態になることを想定して備えていること(もしくは備えていたこと)
※オヤノコトネット社調べ



○民間の介護保険への加入検討時期は40歳代・50歳代が中心

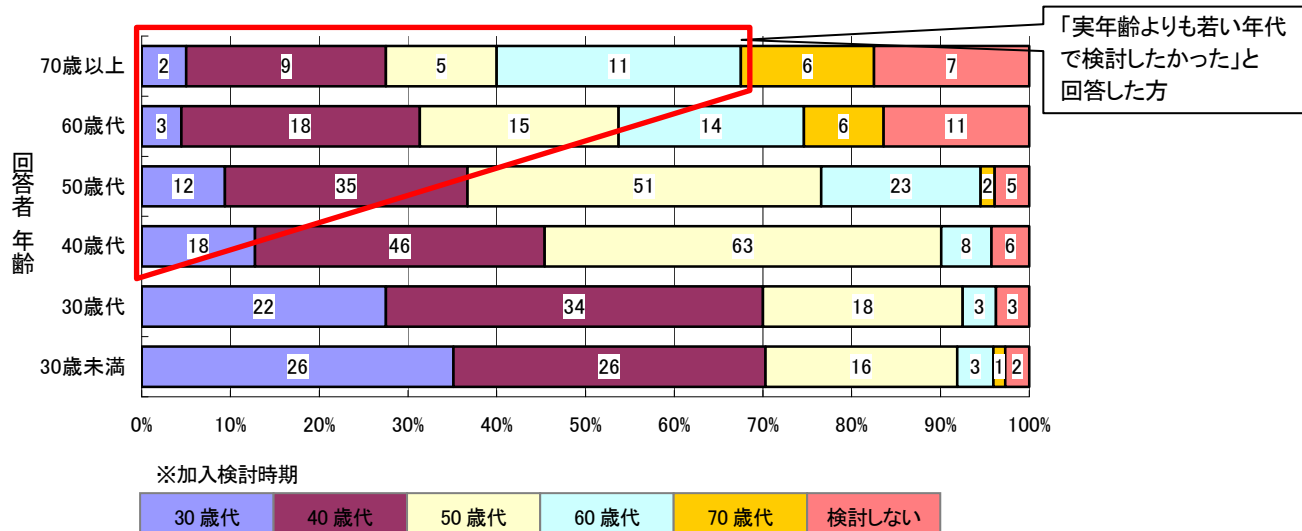
民間の介護保険への加入検討時期は40歳代(グラフ・紫色)、50歳代(グラフ・薄い黄色)が同数で最多となっており、回答者に対する割合は合計で63.4%と約3分の2を占めています。

ここでの注目ポイントは、自身の年齢よりも若い年代(例:50歳代の方が「40歳代から検討」と回答)を選択した方が、50歳代でも3分の1以上、60歳代、70歳代では半数以上となるなど、多くいるということです。

60歳代、70歳代の方は、現在の年齢から加入するのが難しいという認識の影響もあるものと思われそうですが、「検討しない」を選択していないことから、「若いときに検討しておきたかった」と感じている方が多いことがうかがわれます。

こうした方のなかには、民間の介護保険をご存知なく、提案も受けてこなかった方が少なからず存在するものと考えられ、今後の提案活動を通じ、より多くの方に民間の介護保険の存在を知っていただくことの必要性を改めて認識させられる結果となっています。

◆民間の介護保険も老後の備えになります。検討するなら何歳くらいからだと思いますか？(N=530)



【調査結果をうけた弊社の取組み】

弊社では、業界に先駆けて2000年より子会社の株式会社ふれ愛ドゥライフサービスを通じて通所介護事業に参入するなど、よりよい高齢社会の実現に貢献するための取組みを行ってまいりました。

今回の調査結果を踏まえ、弊社では、お客さまに安心をお届けするべく、公的介護保険連動型という「タフ・介護の保険」の特長を活かしたご提案をさらに強化してまいります。

また、AD全国プロ会をはじめとしたプロ代理店を中心に、介護への備えをはじめとする各種ご提案活動を継続的に行うことで、各地域での身近な相談者としての役割を發揮してまいります。

株式会社ふれ愛ドゥライフサービス

弊社の関連事業会社で、2000年より通所介護事業を行っています。
 現在、品川(東京都)・瑞穂(愛知県)・大宮(埼玉県)・茨木(大阪府)の4ヶ所でデイサービスセンターを開設・運営しています。
 各デイサービスセンターでは、介護予防サービスに力を入れ、利用者の方へのサービス向上に努めるとともに、近隣の小・中学校、ボランティア団体との交流を通じた地域貢献活動も積極的に行っております。

タフ・介護の保険

弊社が販売する介護保険の商品名です。
 「タフ・介護の保険」の保険金のお支払いは公的介護保険に連動しており、自己負担に備えたいお客さまにもわかりやすい商品となっております。また、要介護2以上で毎月の介護保険金をお支払いする期間中は保険料の払込みが免除となるほか、要支援1～要介護1といった軽度介護に対しても一時金の補償をオプションとして用意することで、お客さまを幅広くサポートできる商品を目指しています。

【調査概要】

調査対象:オヤノコト. エキスポ2012来場者

調査方法:対面方式

調査期間:2012年7月14日(土)・15日(日)

回答者数:553名

男女内訳: 男性47.0%、女性47.4%、不明5.6%

年代内訳: 39歳以下 28.7%、40歳～59歳 50.1%、60歳以上 21.0%、不明 0.2%

以上

【参考】「老後の備えと介護」に関するアンケート調査結果(データ)

◆老後の毎月の生活には一人あたりいくら必要だと思いますか？(N=553)

		総計
老後に必要な生活費	5万円未満	10
	5万円以上/10万円未満	15
	10万円以上/15万円未満	183
	15万円以上/20万円未満	88
	20万円以上/25万円未満	167
	25万円以上/30万円未満	35
	30万円以上	45
無回答		10
総計		553

◆老後の備えを始めていますか？あてはまるものをすべて選んでください(複数回答)(N=553)

	40歳未満	40歳～59歳	60歳以上	総計
老後に向けて貯蓄をしている	36	153	63	252
万が一に備えて民間の保険に加入している	32	96	32	160
老後に備えるにはまだ早いので何もしていない	90	49	8	147
その他・無回答	11	14	18	43

◆「老後に必要な生活費」と「介護のために必要と考える自己負担費用」に関する回答の相互関係(N=520)

		介護のために必要と考える自己負担費用						総計
		3万円未満	3万円以上 6万円未満	6万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	
老後に必要な生活費	5万円未満	6	1	3				10
	5万円以上/10万円未満		8	5	1		1	15
	10万円以上/15万円未満	36	25	75	19	21	3	180
	15万円以上/20万円未満	10	17	26	19	6	2	80
	20万円以上/25万円未満	23	14	53	21	34	13	161
	25万円以上/30万円未満	3	6	10	6	6	2	34
	30万円以上	5	3	9	3	5	8	40
総計		83	74	181	69	72	29	520

「介護の自己負担費用」が「老後に必要な生活費」の半額以上となる層

◆民間の介護保険も老後の備えになります。検討するなら何歳くらいからだと思いますか？(N=530)

		加入検討時期					検討しない	総計
		30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代		
回答者年齢	30歳未満	26	26	16	3	1	2	74
	30歳代	22	34	18	3		3	80
	40歳代	18	46	63	8		6	141
	50歳代	12	35	51	23	2	5	128
	60歳代	3	18	15	14	6	11	67
	70歳以上	2	9	5	11	6	7	40
	総計		83	168	168	62	15	34

加入検討時期が回答者の年齢よりも若い層